

平成28年度

定時総会を開催

去る5月24日(火)、平成28年度定時総会を港区の明治記念館にて開催しました。当日は、平成27年度事業報告並びに同決算報告、平成28年度の事業計画(案)並びに同収支予算(案)についてご承認いただきました。また、議事終了後、優良技術者表彰式(8ページ)を執り行いましたので、その概要を報告します。

平成27年度 事業報告並びに同決算報告について

— 平成27年度 事業報告 —

■はじめに

会員各位のご支援・ご協力により、平成27年度事業を遂行できましたことを心から感謝申し上げます。本年は、技士会単独の講習会を9つのテーマで開催したほか、事業の柱の一つとして、(一社)東京建設業協会との共催により、若年技術者に重点を置いた研修会を8回実施いたしました。また、広く都民や学生の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、「一般向け土木施設見学会」を開催し、昨年に引き続き、(一社)東京建設業協会と共催で、建設業界へ就職を目指す学生を対象とした合同企業説明会「みんなの建設業☆就職フェスタ」を開催いたしました。さらに、会員会社が施工する工事現場など3ヶ所を視察、異業種等施設見学会を1回実施し、土木技術者の技術向上の支援に努めました。このほか、機関紙「DOBOKU技士会 東京」を発行しました。

■事業報告

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会の実施

技士会単独開催を9回、(一社)東京建設業協会等との共催を8回、合計17回の講習会・研修会を開催した。また、1級土木施工管理技術検定学科試験受験準備講習会の受講者のうち学科試験合格者に実地試験対策のために問題集を配付した。

①若年技術者のための支援 (共催)

- ・新入社員研修会 4月2日～3日

- ・若手技術者のためのコミュニケーション能力強化研修会 7月17日
- ・新入社員半年フォロー研修会 10月15日、11月12日
- ・若手社員(3年次～5年次)フォロー研修会 10月23日

②1級土木施工管理技士資格取得のための支援

- ・学科試験受験準備講習会 6月3日～4日
- ・学科試験合格者に実地試験問題集を配付 8月下旬(会員かつ講習会受講者対象)

③基礎的な技能習得のための支援

- ・安全管理講習会 4月24日
- ・コンクリート施工技術講習会(共催) 8月26日
- ・環境管理講習会 9月15日
- ・維持管理基礎講座(河川編)(共催) 10月7日
- ・仮設構造物(土留め工)の設計講習会 12月4日

④総合的な技能習得のための支援

- ・現場代理人の折衝力強化研修会(共催) 4月13日
- ・現場管理スキルアップ講習会 5月20日
- ・現場マネジメント能力実践講習会 6月16日
- ・公共土木工事積算講習会 10月20日

- 公共工事の施工不良・設計不適切の改善策講習会 11月10日
- 総合評価対策のための工事成績アップのポイント講習会 2月19日

(2) 土木工事現場の視察

土木技術者の技術力向上を図るため、会員会社の協力を得て、土木工事現場の見学会を3回開催した。

- 江東幹線工事 7月15日
- 中部横断丸滝トンネル工事 11月20日
- 東西線南砂町駅中央部工区改良土木工事 2月25日

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

- 日産自動車「栃木工場」 12月15日

2. 広報事業

(1) 若年者への魅力ある建設業のPR

若年者への建設業のPRと会員企業の人材確保の一助となるよう合同企業説明会を東京建設業協会と共催した。

- みんなの建設業☆就職フェスタ（合同企業説明会）の開催（共催） 3月11日

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

- 一般向け施設見学会（首都圏外郭放水路） 1月8日
- わくわく・すいすい「水辺探検」への協力 9月22日

(3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU技士会 東京」を年4回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。

- 第61号（平成27年4月）
- 第62号（平成27年7月）
- 第63号（平成27年10月）
- 第64号（平成28年1月）

(4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内をはじめ、メールとホームページを活用して情報を提供し、利便性の向上を努めた

3. 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入先調査などを実施した。

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

(1) 優良技術者表彰の実施

会員から推薦された優良技術者92名を表彰した。

(2) 各種表彰候補者の推薦

優良技術者の中から5名を（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

5. 設立20周年記念事業の準備

- (1) 設立20周年記念事業の準備

6. 連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、（一社）東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

7. 会議

(1) 総会

定時総会 5月25日

議決事項

- ① 平成26年度事業報告並びに同収支決算に関する件
 - ② 平成27年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件
- 優良技術者表彰 92名

(2) 理事会

第1回 5月25日

- ① 平成26年度事業報告並びに同収支決算に関する件

第2回 3月23日

- ① 平成28年度 事業計画(案)に関する件
- ② 平成28年度 収支予算(案)に関する件

(3) 監事会 4月8日

- ① 平成26年度事業並びに決算について
監査

8. 委員会

(1) 総務委員会

第1回 12月9日

- ① 平成27年度 会員の異動状況と収入状況について
- ② 平成27年度事業の実施状況と今後の予定について

第2回 3月16日

- ① 平成28年度事業計画(案)について
- ② 平成28年度収支予算(案)について
- ③ 今後の予定について

(2) 事業運営委員会

第1回 12月2日

- ① 平成27年度事業の実施状況について
- ② 今後の事業予定について
- ③ 優良技術者表彰の実施について

第2回 3月9日

- ① 平成28年度事業計画(案)について
- ② 平成28年度優良技術者表彰について

- 講習会グループ会議 11月9日、2月18日
平成27年度講習会事業の実施状況、平成28年度講習会事業などを協議するため開催した。

- 現場視察グループ会議

4月14日、10月22日

平成27年度現場見学会候補地選定をするため開催した。

- 情報・広報グループ会議

6月26日、11月6日、2月24日

機関誌「DOBOKU技士会 東京」、合同企業説明会、異業種他分野各種施設見学会及び一般向け施設見学会候補地などを協議するため開催した。

(3) 設立20周年記念事業実行委員会

第1回 7月30日

- ① 委員長の選任について
- ② 設立20周年記念事業について

第2回 11月6日

- ① 記念式典について
- ② 記念誌について
- ③ 今後の予定について

第3回 2月24日

- ① 記念誌について
- ② 記念表彰候補について
- ③ 写真展について

—— 平成27年度 収支計算書 ——

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
会費収入	34,040,000	33,397,760	642,240
入会金収入	200,000	6,000	194,000
事業収入	4,000,000	4,164,800	△ 164,800
基金取崩収入	2,000,000	2,000,000	0
雑収入	100,000	304,094	△ 204,094
当期収入合計(A)	40,340,000	39,872,654	467,346
前期繰越収支差額	13,650,000	13,713,653	△ 63,653
収入合計(B)	53,990,000	53,586,307	403,693

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
事業費	30,480,000	28,647,454	1,832,546
管理費	8,860,000	8,683,313	176,687
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	3,000,000	0	3,000,000
当期支出合計(C)	43,340,000	38,330,767	5,009,233
前期収支差額(A)-(C)	△ 3,000,000	1,541,887	△ 4,541,887
次期繰越収支差額(B)-(C)	10,650,000	15,255,540	△ 4,605,540

平成28年度 事業計画並びに同収支予算について

—— 平成28年度 事業計画 ——

■ 基本方針

近年、相次ぐ深刻な自然災害への対応、首都直下地震に備えた既存施設の耐震化や機能更新、さらには2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種インフラの整備など、都市基盤の強化は急務であり、国民の生命や財産を守る建設業の役割に期待と関心が高まっています。また昨年、担い手3法の運用が本格化し、公共工事設計労務単価の4年連続の引き上げ、社会保険への加入の徹底、歩切撤廃に向けての動きなど、建設業界の環境改善が進んでおります。しかしながら、建設業界は高齢化と若年者の建設業離れが大きな課題となっております。優秀な人材の確保は、建設業界の将来に亘る持続的な成長と国土の発展において非常に重要です。当会では、昨年引き続き合同企業説明会「みんなの建設業☆就職フェスタ」を開催し、優秀な若年者確保を目指す会員企業の取り組みを支援いたします。また、今年度新たに若年技術者の資格取得の支援として、1級土木施工管理技士実地試験受験準備講習会を実施いたします。さらには、女性に土木業界をアピールする意味から、女性技術者と女子学生を対象とした現場見学会を開催します。ところで、本年は技士会設立20周年に当たるため、各種記念事業を実施してまいります。このほか、会員のニーズを反映し、技術者のスキルアップと若手技術者の定着支援を目的とした各種講習会、現場見学会、施設見学会を開催するなど、土木技術者の技術力向上に努め、社会貢献につながる事業を展開してまいります。

■ 事業計画

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会の実施

- ① 若年技術者のための支援(共催) 5回程度
- ② 1級土木施工管理技士資格取得のための支援
 - ・学科試験受験準備講習会 1回
 - ・実地試験受験準備講習会 2回

- ③ 基礎的な技能習得のための支援 6回程度
- ④ 総合的な技能習得のための支援 5回程度
- ⑤ 経営者のための支援(共催) 1回程度
- (2) 土木工事現場の視察 3回程度
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察 1回程度

2. 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業
- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行(年4回)
- (4) 会員名簿の発行
- (5) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

3. 調査研究

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

5. 設立20周年記念事業の実施

- (1) 設立20周年記念事業の実施

6. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

7. 会議

- (1) 総会
 - ① 定時総会
 - ② 臨時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事会

8. 委員会

- (1) 総務委員会
(2) 事業運営委員会

① 講習会グループ会議

② 現場視察グループ会議

③ 情報・広報グループ会議

(3) 設立20周年記念事業実行委員会

—— 平成28年度 収支予算書 ——

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	28年度 予算額	27年度 予算額	増 減
大 科 目			
会 費 収 入	33,900,000	34,040,000	△ 140,000
入 会 金 収 入	200,000	200,000	0
事 業 収 入	4,000,000	4,000,000	0
記念事業基金取崩収入	8,000,000	2,000,000	0
雑 収 入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	46,200,000	40,340,000	5,860,000
前期繰越収支差額	15,420,000	13,650,000	1,770,000
収 入 合 計 (B)	61,620,000	53,990,000	7,630,000

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目	28年度 予算額	27年度 予算額	増 減
大 科 目			
事 業 費	39,750,000	30,480,000	9,270,000
管 理 費	9,060,000	8,860,000	200,000
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予 備 費	3,000,000	3,000,000	0
当期支出合計(C)	52,810,000	43,340,000	9,470,000
前期収支差額(A)-(C)	△ 6,610,000	△ 3,000,000	0
次期繰越収支差額(B)-(C)	8,810,000	10,650,000	△ 1,840,000

役員任期満了に伴う改選について

役員任期満了に伴い、改選が行われ下記の方々を選出されました。

—— [役員名簿] ——

平成28年5月24日現在

(敬称略)

	氏 名	会 社 名		氏 名	会 社 名
会 長	伊 藤 寛 治	飛鳥建設株式会社	理 事	高 橋 武 一	東洋建設株式会社
副 会 長	山 田 裕 之	戸田建設株式会社	//	宮 田 篤 史	株式会社ナカノブドー建設
//	杉 原 克 郎	清水建設株式会社	//	森 本 裕 朗	西松建設株式会社
理 事	福 富 正 人	株式会社安藤・間	//	黒 田 信 夫	日本道路株式会社
//	鈴 木 正 道	オリエンタル白石株式会社	//	林 清 一	林建設株式会社
//	瀬 口 智 勝	鹿島建設株式会社	//	森 吉 修	株式会社フジタ
//	加 藤 岩 男	株木建設株式会社	//	西 本 哲 二	前田建設工業株式会社
//	石 垣 和 男	株式会社熊谷組	//	三 宅 悟	三井住友建設株式会社
//	町 田 周 一	五洋建設株式会社	//	神 原 正 明	みらい建設工業株式会社
//	鈴 木 正 司	坂田建設株式会社	//	立 川 忠 道	個人会員
//	川 端 一 知	佐藤工業株式会社	監 事	奈良岡 茂	ショーボンド建設株式会社
//	西 田 義 則	大成建設株式会社	//	金 子 和 浩	常盤工業株式会社
//	森 克 己	大豊建設株式会社	//	佐々木 日出幸	三井住建道路株式会社
//	水 谷 景 洋	東急建設株式会社	常務理事	近 藤 義 弘	東京土木施工管理技士会

平成28年度

優良技術者表彰

当会では、技術者表彰規程に基づき、定時総会時に優良技術者表彰の表彰式を行っています。今年度は次の通り122名の方を表彰しました。受賞者の皆様に対し、心よりお祝い申し上げます。



代表して表彰を受ける山本 佳正氏(鹿島建設株)

【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】(116名)

国、地方公共団体等が発注した工事で、当該団体から優良工事として表彰を受けた工事に、現場代理人、監理技術者等の立場で業務に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となるとして推薦のあった者

(氏名50音順・敬称略)

氏名	会社名	工事名
阿久津 健次	大林道路株式会社	京葉道路 穴川東工事
阿部 修	株式会社富士土木	路面補修工事(25 1-1 遮熱性舗装及び歩道改善)
阿部 泰典	鹿島建設株式会社	首都圏中央連絡自動車道 境高架橋(下部工)工事
安倍 康彦	東洋建設株式会社 関東支店	東京国際空港C滑走路南側延伸部排水施設改良工事
安藤 尚人	大林道路株式会社	電線共同溝設置工事(25都道316-芝浦II)
石部 勇治	株式会社NIPPO	東京国際空港C滑走路舗装改良等工事
石森 修	成友興業株式会社	路面補修工事(25北北の21)
伊藤 健一	大成建設株式会社	浮間水再生センター水処理施設及び板橋坂下ポンプ所耐震補強工事
今井 吉治	大日本土木株式会社 東京支店	足立区千住緑町二丁目地先から同区千住宮元町地先間外2か所配水本管(400mm)布設替及び配水小管布設替工事
岩田 成彦	株式会社日本ピーエス	細ヶ沢橋他上部工事
上地 良秀	オリエンタル白石株式会社	平成25年度コロシウムブリッジ耐震補強工事
内田 敏弘	飛鳥建設株式会社	古川地下調整池取水施設工事(その2-2)
梅田 正人	あおみ建設株式会社 東京支店	地方港湾真鶴港沖防波堤整備(No.7ケーソン制作・据付)工事(その2)
梅本 和夫	東洋建設株式会社 関東支店	中野区野方4丁目地先配水本管(1350mm)新設工事
海老原 雅彦	大林道路株式会社	東名高速道路 横浜管内舗装補修工事(平成26年度)
及川 秀幸	信幸建設株式会社	鹿島港外港地区南防波堤本体工事
大西 義隆	株木建設株式会社 東京本店	両総農業水利事業大須賀川排水路その18工事
大貫 晃一	東鉄工業株式会社	粟宮処理分区新設工事第2工区
大野 恭	株式会社富士土木	路面補修工事(25 南西の11)
大場 芳太郎	あおみ建設株式会社 東京支店	武蔵水路佐間水門工事
大脇 裕史	名工建設株式会社 東京支店	つくばエクスプレス線、車両基地出入庫線複線化
岡田 晃典	飛鳥建設株式会社	(仮称)新磯子幹線口径1200mm送水管新設工事
岡部 真一郎	株式会社ピーエス三菱	疾風橋耐震その2工事
奥住 大樹	信幸建設株式会社	鹿島港外港地区南防波堤本体工事
小國 智一郎	株式会社竹中土木	圏央道三坂高架橋他下部工事
小野 博康	株式会社熊谷組	市道新戸相武台道路改良工事(第三工区)
小野 誠	三井住友建設株式会社 関東土木支店	二級河川引地川福田八号橋架替(上部工)工事
小野寺 貴浩	ショーボンド建設株式会社	H26 只上高架橋他橋梁補修工事
蚊津見 和雅	名工建設株式会社 東京支店	大井保線所管内土木構造物修繕工事(のり面修繕その他)
加藤 善雄	前田道路株式会社	横浜横須賀道路 京浜管内舗装補修工事
金田 昌治	ショーボンド建設株式会社	H26 大峰沢橋他橋梁補修工事
鎌田 隆幸	三井住友建設株式会社 関東土木支店	二級河川引地川福田八号橋架替(上部工)工事

氏名	会社名	工事名
川村 正司	株式会社フジタ	吉祥寺東町一丁目地内合流式下水道改善施設築造工事
北川 佳弘	株式会社フジタ	北八幡11号雨水幹線工事
木原 太	五洋建設株式会社 東京土木支店	横須賀(25)消磁施設新設土木工事
木村 潤一	大林道路株式会社	路面補修工事 (25二の18・二層式低騒音舗装)
黒川 誠	東洋建設株式会社 関東支店	平成26年度天王洲運河(東品川二丁目)内部護岸建設工事
黒川 昌俊	飛鳥建設株式会社	西東京第4処理分区中央第1幹線築造工事
桑嶋 健	名工建設株式会社東京支店	日本橋室町二丁目共同溝工事
河野 浩之	前田建設工業株式会社	矢切函渠その9工事
児玉 英明	西松建設株式会社	中央環状品川線五反田入口部排煙ダクト他設置工事
小森 裕幸	清水建設株式会社 土木東京支店	千葉北部地区平成24年度公共都計道3・1・2号線本焚工区道路他工事他1件
斎賀 雄	大成建設株式会社	H27年台風18号常総市三坂町(下流工区)緊急復旧工事
斉藤 修一	三井住建道路株式会社 関東支店	八幡海岸(その1)電線共同溝工事
齋藤 尚人	株式会社フジタ	圏央道桶川地区函渠その2工事
神原 将	東急建設株式会社	竪川護岸建設工事(その7)
佐藤 忠嗣	大成建設株式会社	圏央道北本地区函渠その1工事
佐野 和久	株式会社熊谷組	東京国際空港C滑走路南側延伸部用地造成等工事
佐山 裕之	西松建設株式会社	小雀浄水場2号配水池耐震補強工事
沢居 哲郎	日本道路株式会社 東京支店	16号相模原市中央区清新自転車道整備工事
椎名 均	前田建設工業株式会社	北陸幹赤沼Bi新設他
重田 和之	大林道路株式会社	電線共同溝設置工事(25都道475-永代)
芝田 貴昌	株式会社アスピア	平成26年度市道5510号線改良工事
柴田 佳彦	鹿島建設株式会社	中央環状品川線(北行)トンネル内装その他工事
島村 健司	飛鳥建設株式会社	(仮称)新磯子幹線口径1200mm送水管新設工事
清水 功	飛鳥建設株式会社	西東京第4処理分区中央第3-1幹線築造工事
清水 悠哉	東急建設株式会社	竪川護岸建設工事(その7)
庄子 敏之	株式会社竹中道路	電線共同溝設置工事(25都道10-南砂II)
生子 康明	株式会社富士土木	路面補修工事(25 1-1 遮熱性舗装及び歩道改善)
白石 浩	あおみ建設株式会社 東京支店	武蔵水路佐間水門工事
鈴木 伸治	三井住建道路株式会社 関東支店	圏央道幸手地区側道舗装その3工事
鈴木 祥孝	株式会社熊谷組	大江戸線牛込柳町出入口新設(その2)工事
祖父江 健一	京急建設株式会社	鷹取雨水滞水地築造工事
高橋 史法	信幸建設株式会社	平成26年度伊豆諸島ケーソン製作工事(その3)
竹内 裕豊	株式会社竹中土木	圏央道三坂高架橋他下部工事
武橋 浩一	栄都建設株式会社	隅田川しゅんせつ工事(その2)
多田 憲治	前田道路株式会社	H26深谷市普濟寺地区歩道整備外工事
立石 久弥	飛鳥建設株式会社	西東京第4処理分区中央第3-1幹線築造工事
谷口 隆史	奥村組土木興業株式会社東京支店	首都圏中央連絡自動車道 境工事
塚田 努	信幸建設株式会社	平成26年度伊豆諸島ケーソン製作工事(その3)
出口 良一	株式会社ガイアート・K 関東支店	16号八王子市中野山王地区舗装(その2)工事
中下 正勝	五洋建設株式会社東京土木支店	南部処理区大岡川右岸雨水幹線下水道整備工事(その2)
中根 啓吉	株式会社富士土木	路面補修工事(25 西の20)
中山 俊彦	ショーボンド建設株式会社	H25・H26 東北跨線橋他橋梁補修工事
滑川 英紀	株木建設株式会社 東京本店	両総農業水利事業大須賀川排水路その18工事
檜崎 彰	前田建設工業株式会社	北多摩二号水再生センター水処理施設その8工事
西形 悠	株式会社NIPPO	圏央道久喜地区側道舗装工事
二瀬 哲也	株式会社安藤・間 関東土木支店	南池袋公園付近管路新設工事
能見 幸孝	日本道路株式会社 北関東支店	(修)舗装改修工事1-101
羽方 一徳	株式会社竹中土木	雑司ヶ谷幹線再構築その10工事
萩原 博愛	大林道路株式会社	東名高速道路 横浜管内舗装補修工事(平成26年度)
濱ノ園 剛	大豊建設株式会社東京支店	(高負)中央環状品川線(南行)トンネル内装その他工事
林 雄志	大成建設株式会社	東京外環自動車道高谷ジャンクション橋南(下部工)工事
平井 忠伸	古久根建設株式会社	H25 浅川上田低水護岸工事
平岡 康之	大成建設株式会社	梶原・柏尾社宅更地化工事

氏名	会社名	工事名
深津 三峰男	児玉建設株式会社	交差点改良工事 (26北南一小柳町四丁目交差点)
府川 哲	株式会社NIPPO	(修) 上部工補強工事 (銅床版) 26-3-1
藤澤 武陽	株式会社富士土木	路面補修工事 (25 南西の11)
藤嶋 延尚	日鋪建設株式会社	野川河床整備工事 (その8)
堀井 裕蔵	オリエンタル白石株式会社	YK43工区 (F ²)連結路) 基礎工事
堀内 省三	東洋建設株式会社 関東支店	横浜港臨港道路南本牧ふ頭本牧線 (Ⅲ-2 工区) 高架橋下部工事
前田 清人	オリエンタル白石株式会社	(負) 南本牧ふ頭入口基礎工事
牧野 智久	株式会社ピーエス三菱	H25 川名岡橋改良工事
増田 裕之	五洋建設株式会社東京土木支店	中央環状品川線 (北行) トンネル内装その他工事
松木田 進	五洋建設株式会社 東京土木支店	①小名浜港本港地区防波堤 (沖) 上部工事、②鹿島港航路・泊地 (-14m) 浚渫工事、③鹿島港泊地 (-14m) 他浚渫工事、④鹿島港外港地区航路・泊地 (-14m) 浚渫工事、⑤小名浜港東港地区岸壁土留壁改良工事、⑥鹿島港外港地区航路・泊地 (-14m) 浚渫工事
松下 怜史	オリエンタル白石株式会社	千葉北部地区平成24年度公共都計道3・1・2号線本空工区道路他工事
松本 泰孝	飛鳥建設株式会社	東京国際空港C滑走路北側地盤改良工事
的射場 猛	株木建設株式会社 東京本店	南海浜正面護岸災害復旧工事
丸山 守彦	前田道路株式会社	横浜横須賀道路 京浜管内舗装補修工事
水野 雄太	株式会社NIPPO	(修負) 舗装改修工事 1-103
南谷 貴彦	成友興業株式会社	路面補修工事 (25北北の21)
宮口 竹彦	オリエンタル白石株式会社	中老袋高架橋緊急補修工事
村上 俊秀	五洋建設株式会社 東京土木支店	横須賀 (25) 消磁施設新設土木工事
村木 信哉	三井住建道路株式会社 関東支店	街路築造工事 (25三一放6住吉町) 外1箇所
本杉 成美	東洋建設株式会社 関東支店	平成26年度月島ふ頭緊急護岸補修工事
森本 保	京急建設株式会社	鷹取雨水滞水地築造工事
矢島 雅夫	戸田建設株式会社 首都圏土木支店	西谷浄水沈でん池耐震補強工事
安田 昭二	飛鳥建設株式会社	鶴沼東部1号貯留管築造工事
八谷 直之	株式会社竹中土木	雑司ヶ谷幹線再構築その10工事
山田 恭央	西松建設株式会社	平成24年度腰越漁港改修整備工事
山本 佳正	鹿島建設株式会社	中央環状新宿線大橋地区本線接続工事
吉川 晋	前田道路株式会社	H26 深谷市普濟寺地区歩道整備外工事
米沢 実	鹿島建設株式会社	中央環状品川線 (北行) トンネル内装その他工事
渡邊 一成	大日本土木株式会社 東京支店	武蔵野市公共下水道雨水貯留施設築造工事
渡部 慎司	株式会社日本ピーエス	H26 宮ヶ根塔橋橋梁補修工事
渡部 直樹	大林道路株式会社	京葉道路 穴川東工事

【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】 (3名)

土木施工技術に関する発明、実用新案、新技術の開発及び論文等に対し、公的機関から表彰された者

(氏名50音順・敬称略)

氏名	会社名	発明・論文等の名称
飯田 宏	東亜建設工業株式会社	大水深対応型水中作業ロボットの開発
石山 宏二	西松建設株式会社	道路維持管理における放射性物質で汚染された発生土砂の土壌洗浄技術による処理・減容化に関する取組み
熊谷 善明	株式会社ピーエス三菱	豪雪地方におけるエクストラードスド橋の非出水期施工 一国道403号線 中央橋架替(3)-

【技術者表彰規程 第2条第5項該当者】 (3名)

土木施工管理技術を生かして災害復旧作業や調査等のボランティア活動に参加し、公的機関等から表彰状、感謝状を受けた者、または個人として上記活動に参加した者

(氏名50音順・敬称略)

氏名	会社名	社会奉仕等の名称
天野 文隆	大日本土木株式会社 東京支店	消火活動
大谷 茂	株式会社安藤・間 関東土木支店	福島第一原発の汚染水処理水の貯留量確保への貢献
丸山 一隆	株式会社安藤・間 関東土木支店	地下鉄駅の漏水事故対応への多大な協力

平成28年度

定時総会「会長挨拶」



東京土木施工管理技士会
会長 伊藤 寛治

定時総会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙のところ多数の方々にご出席いただき誠にありがとうございます。会員の皆さまには、日頃当会の事業運営に対し格別のご理解とご協力を賜わり心から感謝申し上げます。

まず、はじめに「熊本地震」において多くの犠牲者が出たことは、誠に痛ましく残念でなりません。亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに被災された皆様には衷心よりお見舞い申し上げます次第でございます。

被災地では私たちの仲間が持てる力を最大限に発揮し1日も早い復旧・復興に尽力されているところであります。今回の震災を受けまして当会は熊本県土木施工管理技士会へ災害見舞金20万円を拠出いたしましたのでこの場をお借りして会員の皆様にご報告いたします。

さて、土木技術者の皆様は4年後に控えた「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の開催に向け、さらには建設業が将来にわたって国民の安全・安心を守るといった社会的責務を果たしていくために社会資本整備の担い手として、また、災害

時の応急復旧の担い手として誇りをもって日々の仕事に取り組まれていることと存じます。しかしながら若者たちの土木離れが進んでいる現状を見ますと、やり甲斐や達成感など「土木が持つ魅力」を十分に伝え理解してもらうことが次世代の人材確保に大切だと思います。このようなことから当会では一般の方々に広く土木について理解していただく活動をはじめ若手土木技術者の資格取得や技術力向上を支援する事業を実施してまいりたいと存じます。

ところで、当会は今年で設立20周年を迎えることとなりました。設立以来、会員の皆様には様々な形でご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。この後の議事でもご説明いたしますが、今年度事業のひとつといたしまして「20周年記念事業」を企画しております。多くの方々にご参加いただければと存じます。

今後とも会員の皆さまには、技士会の運営により一層のご支援をお願い申し上げまして、簡単ではございますが開会の挨拶とさせていただきます。本日は宜しく願いいたします。